

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校

学校だより No.17

平成 31 年(2019 年)1 月 16 日

たくさんの成長と三学期のまとめに

武村 節子

学校の周りの紅サザンカが、寒さに負けずいつまでも花びらをつけています。寒椿の花びらは固まって落ちますが、サザンカの花びらは強く萼に付いていて1枚ずつが散っていきます。

さて、新しい年が始まり、半月が過ぎました。学校では、3学期の学習内容と共にそれぞれの学年の締めくくりの学習に励んでいます。それは、次の学年につなげる学習でもあります。



【校舎改修ですっきりした校舎前庭】



さっそく5年生の児童が、2月に計画されているフローティングスクールで披露する学校

紹介の内容として、校章の意味を尋ねにきました。始業式で児童にクイズを出しましたので、興味を持ってくれたようです。保護者の皆さんは知っておられましたか。わたしは同窓会長さんに教えていただきました。「西」はわかりますね。

「川」も西の周りに丸く形を変えてあるのがわかります。さて、「の」と「と」ですが、脳トレのように柔軟に考えてください。「ノ」が「十(とう)」あります。周囲のサクラの花びらは、実は「ノ」が「十(とう)」でできているのです。これを聞いた5年生は、能登川のほかの小学校はどんな校章だろうと興味を持ったようです。さあどうでしょう。

子どもたちはいろいろなことに興味を持ちます。興味を持って調べたことは一生ものの知識になります。すぐに答えを見たり答えを待つのでなく、つまずいたり起き上がったたりしてたくましく成長してほしいと願っています。わたしたち大人もそれを根気強く待っていたいと思います。

今年度は、下のような思いをもって教育活動を進めてまいりました。教職員もまた、まとめの3学期です。どの子にも喜びと感動のある充実した学びが実現できるよう、目標を明確化し、対話的・主体的で深い学びの視点による授業改善の推進等、教育活動の質的な向上に向けてより一層、努力いたします。どうか変わらぬご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

子どもの笑顔があふれ 瞳が輝く学校をめざして

1 笑顔と活力ある学校

学級活動やたてわり活動を中心にした社会性やコミュニケーション力育成、かがやきの木の取組による人権尊重、児童同士が互いに高め合う集団、いじめを許さない風土づくりなど、子どもたちの笑顔があふれる、生き生きとした学校をめざします。

2 子どもが主人公となる学校

教え込みではなく「わかった」「できた」の喜びのある学習には、自分から取り組み、本や資料や友だちと対話して考えを広め、理解を深められるようにすることが大事です。粘り強く最後までやりきる姿勢や意欲を育て、繰り返し努力したことを認める学校をめざします。

3 この学校で学べてよかったと思える学校

子どもたちは、地域の人や自然から学ぶことが大好きです。本物を見たり聞いたり、本物の感動体験で「できるようになったこと」「がんばったこと」をたくさん蓄えます。授業作りや仲間作りをとおして、この学校でたくましく成長したと思える学校をめざします。